

## 二つの地図の比較から ～江戸時代と現在の道を比べる～

千葉大学教育学部附属小学校 井上 久

### 1. 歴史学習に地図を活用する意義

6年生の歴史学習において、地図が使われることは少ないのが現状ではないだろうか。しかし、歴史学習にも地図は有効であり、授業の中で積極的に使われるべきだと考える。特に、時代の異なる地図を比較・検討させることにより、時代の変容に気づかせるという点では、地図を活用する意義は大きい。

### 2. 江戸時代の道と現在の道を比べる

江戸時代には、幕府の政策により交通路が全国的に整備された。「陸の道」は、将軍のお膝元である江戸を中心に整備された。また、「海の道」は天下の台所である大阪を中心に、全国をつなぐ航路も発達した。そのころ整備された道が、現在の主要な道路や鉄道や航路になっている。そこで、江戸時代の主要な陸路と海路を示した地図と現在の主要な道路や鉄道や航路を示した地図を用意し、その二つを比較・検討させる。そこから、共通点や相違点に気づかせ、さらには時代の変容を考えさせたい。

### 3. 実際の授業から

はじめに、江戸時代のおもな道路と航路を示した地図（教育出版の教科書 p.48）と現在の高速道路と航路を示した地図『小学生の地図帳』（帝国書院、以下地図帳）p.55の①高速道路とフェリー航路を見せた。そして、二つの地図を比べて「気づいたこと、わかったこと、不思議に思ったこと」をノートに書かせ、その後に発表させた。

「江戸時代の五街道と現在の高速道路はほぼ同じような位置にある」「昔の道も今の道も東京（江戸）を中心につくられている」「江戸時代の航路は今より短く、いろいろな場所をつないでいる」「江戸時代には、どうして北海道に道や航路がなかったのだろうか」など、さまざまな考えがだされた。

次に、江戸時代の道を現在の鉄道と比べさせた。ここでは、江戸時代の道については前述のものを、鉄道については地図帳 p.14～17①日本列島を見わたす地図を使用し、同じ指示をした。すると、「五街道は現在の新幹線の土台になっているようだ」「北海道には現在は多くの鉄道が走っている」などの考えがだされた。

以上のように、二つの地図の比較からその共通点や相違点に気づいた児童が多い。なかでも、江戸時代に整備された道路網が現在につながっていることや、江戸時代も現在も東京（江戸）を中心に道が整備されていること気づいた児童が多い。また、授業のなかで、江戸時代に街道や航路が整備された理由や江戸を中心に道が整備された理由を調べる児童もみられた。

### 4. 歴史学習にも積極的に地図を活用しよう

「江戸時代と現在の道には似ているところと似ていないところがあり、おもしろかった」「江戸時代の道や航路が今の高速道路や航路と似ているのはなぜだろうか。その理由が知りたい」「地図帳を使うと知らなかったことがわかり、楽しいし、取り組みやすい」「江戸時代から現在まで中心地やおもな道路や航路も変わらない。そう考えると江戸時代はその後の時代に大きな影響を与えたと思う」

授業後の感想から、地図を使い江戸時代と現在の道を比較させたことが有意義であったと考えられる。今後も歴史学習に地図を積極的に活用することにより、その時代のようにすをつかませると同時に、さらには現在と過去を比較する力もつけさせたい。



帝国書院『小学生の地図帳（最新版）』p.55